

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 神奈川県畜産会養鶏部会
要望問題名 銘柄の違いと適正飼養管理方式の究明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 910万の消費人口へ効率的に鶏卵を提供するため、各養鶏農場とも管理技術の向上を図っています。 飼料の違い、飼料切り替え時の違い、環境の条件、鶏舎方式、鶏舎の清浄化の違い等々差が出ますが、併せて銘柄の違いによる反応は大きく変わってきます。 そこで、生産飼養状況と銘柄の関係を明確にし、生産性、品質向上の寄与する飼養方式の確立について引き続き検討願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 採卵鶏の経済性と飼養環境適合性調査			
対応の内容等 平成29年度実施中の上記試験では、県内で多く利用されているジュリアライト(白玉鶏)とボリスブラウン(赤玉鶏)の2銘柄を用いて、卵質改善資材を飼料添加し、その効果を銘柄間、投与区間で比較検討しており、来年度も実施しご要望の内容に対応いたします。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			